

■■■ 新年のご挨拶 ■■■

新年おめでとうございます。

セヘ ポク マニ パドゥセヨ

(新春 福をたくさんうけとってください)

チュック モン ナム モイ

(新年おめでとう)

昨年は、KFCを支えていただきありがとうございました。

今年は、昨年サブプライム問題で現れたグローバリズムの陰とどう向き合うかが問われる年になると思います。工業部品の増産を行うように増やしてきた日本の「外国人労働者」とその家族に人としてどう接するのか、もっと深いところでは、多数者や強者の都合によって恣意的に扱っているマイノリティに自分たちの社会がどうあるかを考えることが求められるでしょう。

アメリカでは、オバマさんが大統領になり、ヒスパニックや日系人が閣僚となった新しい政権が発足します。かたや日本では議員世襲の首相が4代つづき、まるで政治は身分制度で運営されているようです。

マイノリティが使い捨てられるのではなく、夢を持ち地域や社会に参加できることが求められています。KFCがその一端を担えればと思います。(理事長 金宣吉)

KFCへウオン ヨロブン、セボク マーニ パドゥシップシヨ！！KFC会員の皆様、新年のご多幸をお祈りいたします！！

新年の厳しさや辛さばかりが言われていますが・・・インドの牛のように、大きな道を堂々とマイペースで行きたいですね。

(副理事長 李圭燮)

昨年は米国発の世界的金融危機で世界経済は大きく混乱し、日本経済にも深刻な影響を与えています。アメリカに追随してきた日本はねじれ国会の影響もあって、なすすべは見つからず麻生内閣は立ち往生しています。トヨタやいすゞ、日産、キャノンなど日本の主要な企業は莫大な利益を上げながら、一斉に派遣切りを敢行し、寒空の下、住む家もなく路頭に放り出される様です。1人12000円の定額給付も3年後の消費税増額と引き換えでは「ばらまき一瞬、増税一生」と言われても仕方ないでしょう。

そもそも麻生内閣は選挙のために作られた政権でした。それが2か月余りで支持率は低迷し、選挙もできず、伸びれば伸びるほど支持が下がって行くという迷走に次ぐ迷走に陥っています。何があるか分からない政情ですが、今年は選挙の年です。アメリカいいなり、大企業いいなりの政治から庶民の生活を守る政権へ大きく舵を切り替える選挙にしたいものです。今年は年男です。老骨に鞭打ってがんばります。

(副理事長 中村通宏)

経済危機は来年も続くでしょうが、よりよい「世界」に向けての試みも各地で様々に行われています。それらをどう結びつけて大きな「力」にしていけばいいのか、自分なりに考えていきたいと思っています。

(理事 樋口大祐)

金融危機で外国人労働者の切り捨てが行われ、外国人の人権が脅かされる事態が今後ますます増えることが懸念されます。定住外国人の権利擁護のためにも、KFCの活動が重要になってくる年と思います。今年もよろしく申し上げます。

(理事 吉井正明)

元旦の計。

と、小学6年の僕は書き初めをした。

昭和39年のお正月。

傍の火鉢では餅がぷうーとふくらみ、まさに、食べごろ。

墨汁の匂いと砂糖醤油の香りが、あれから45年経っても、鼻先に蘇る。

あのオリンピックの年。見上げた元旦の空は真っ青だった。

さてさて、皆様。

久しぶりに、空を見上げてみませんか？

きっと、ガンバリの計とその心意気を祝して、本年元旦の空も、真っ青なはずです。

(理事 森崎清登)

■■■ベトナムのお正月■■■

私の出身地はクアングアイ県です。ベトナム中部の観光地フエの近くのいなかです。

お正月にベトナム人はどこではたらいともいなかへ帰ってきます。家族は回りに集まっていますから。皆は会うと一晩中喋ります。除夜には皆一緒にBANH CHUNG (バンチュン：笹巻き)とBANH DAY(バンザイ：餅)を作って、祖先を礼拝します。これらを作るのはとても簡単です。作る前に準備するのは、豚肉と緑豆と米と木の葉だけです。中には豚肉と緑豆が有ります。その回りは米で作ります。いちばん外の回りはザムという大きな木の葉 (長楕円形15×40cm)で包まれています。とてもおいしいです。BANH CHUNGは正方形です。BANH DAYは丸形です。BANH CHUNGとBANH DAYは天と地を象徴しています。ですからうまくできたら、来年中いろいろな仕事が順調に進行することを信じます。皆は一緒にこれらを食べながら、さまざまなことを喋ります。ふるい年中で悪いこととかいいこととかを話します。今皆はほんとに楽しいことといい希望をもっています。除夜ちよどどとき皆相互に良いことと幸福と長寿を祝います。祖父母、両親に長寿と元気を祝います。除夜るとき、花火をします、新年よろしく。

一日に早く起きてお寺へいったり、おいのりしたり、お墓参りにいったりします。それから祖父母の家へ行って、お元気と長寿を祝います。子どもなら祖父母にお年玉をもらいます。お正月になるまえにベトナム人はいろいろなベトナム風ケーキと食べ物をつくっておきます。お客が彼らの家へきたときケーキと食べ物をだして、「どうぞ」といいます。

二日から友達の家へ行ってふるい友達にあって、ビールをのみながら談話します。ベトナム人はお正月がだいすきです。楽しみの状態をもちます。むかし、ベトナムのお正月は十日間でした。いっぽう現在は仕事のために、五日間ぐらいでお正月を終えます。

(KFC日本語学習者 ファム タン ユン)

■■■韓国のお正月■■■

1. これは、「トックスープ」という韓国の伝統の食べ物です。「トック」とは、「餅」という意味で餅が入ったスープです。韓国人は毎年お正月に必ずこのスープを食べます。

2. 韓国の伝統服「ハンボク」は、日本の着物に似た意味をもっています。ハンボクは、いろんな色が使われとてもカラフルで綺麗ですがその反面值段も高く、手入れも大変です。しかし今では、簡単に着られるように改良されたハンボクがあり、お正月によく着られています。

3. 韓国ではお正月に先祖を崇拝するために下の図のような食べ物を供えます。赤い食べ物は西側へ、白い食べ物は東側へテーブルの上に並べます。そして最後は家族みんなで食べます。

(K F C日本語学習者 金喜善)

■■■日本語プロジェクト■■■

◆おしゃべりで日本語上達— HIA日本語教育アドバイザー派遣事業 —

12月7日(日)はシューズプラザでの研修会でした。講師は技術者研修協会の澤田幸子先生。午後1時から5時まで4時間の長丁場、途中に受講者同士が意見を出し合う場を設けるとのご配慮で気分を一新して緊張感を保ちながら、ボランティアによる日本語支援のあり方をみっちりお話ししていただきました。以下概要を順をおって紹介いたします。

私(澤田幸子先生)は、外国から来た研修生に日本語を教えるのが仕事です。皆さんによく使われている「みんなの日本語」(以下、みんなちと略します)の発行にも携わりました。

日本で働きながら・生活しながら日本語を学びたい外国人に対して全面的に「みんなち」に沿って勉強を進めていくことは、日本語ボランティア支援者からの批判もあります。いわく「会話のシチュエーションが非現実的」、「面白くない」、「進度がはかばかしくない」などです。

そもそも日本語ボランティア支援を受けに来る外国人が必要とする日本語とは、物を手に入れるための意思表示をする言語能力・人間関係を深めるための言語能力・非常時に助けてくれる友人を作る言語能力です。それが学習者のニーズです。待ったなしの日々の暮らしの中で相手に通じさせる、そういう「たくましい日本語」を働きながら・生活しながら身につけてもらうにはどうしたらいいのか。その答えは、ボランティア支援者の活動に期待するところが大きいのです。ボランティアなら個々の学習者の視点に立った話題を取り上げ、お互いに通じさせる努力をすることができるからです。多数の生徒を対象にする日本語教室の先生ではそうはいきません。

たった週1回の日本語ボランティア支援でも学習者に達成感を持ってもらうには、「活動ノート」をつけさせることが一つの方法です。日本語の書き方がおぼつかないうちは支援者が書いてもいいです。

私が「たくましい日本語」のために著した「日本語おしゃべりのたね」は、「おしゃべりで日本語が上手になる」ことを基本コンセプトとしています。一方で、慣用句はゴシック体で表記する、全40文型にかぎマークをつけ巻末に説明を加える、など工夫を凝らしています。これは、文法的に体系だった支援をすることもやはり必要なことであると思っているからです。別冊で「活動の手引き」も発刊されていてボランティア経験の浅い人でもこれを読めば大丈夫なようにしてあります。私は「みんなち」と「日本語おしゃべりのたね」を並行して使って支援するのが現実的だと思います。

日本語ボランティアの役割とはなんでしょうか。日本語教師にはできなくてもボランティアならできることとは何でしょうか。それは、地域とのかかわり・異文化との接触・言葉遣いの支援の3点だと思います。日本語ボランティアと学習者の関係は、「先生」と「生徒」の関係ではないのです。ボランティア支援者は先生というよりむしろ「リソースパーソン」です。ですから、日本語ボランティア支援活動は、何らかのトピックについておしゃべりしながら交流する活動でありたいと思

うのです。

少子化の進展に伴い日本の多文化共生社会化は、否が応でも進んでいきます。それを支えるのが日本語ボランティアです。人間関係の中でしか日本語能力は向上しないと言われます。日本語ボランティアはその点有利な立場にあります。

ボランティア活動の良さは、お役所とは異なり迅速な対応ができることです。外国人とのコミュニケーションを大事にし、日本語文法もおろそかにせず、ボランティア力を発揮していきましょう。ボランティア力とは、つながること・関係を作ること・場を作ることです。

最後になりますが、つまらぬ固定観念は弊害の元です。昔ながらの支援のやり方から脱却して、固定観念をぶっ壊すくらいの気概を持ってボランティア活動をしていきましょう。

文中の「日本語おしゃべりのたね」は、スリーエーネットワーク社発行・著者澤田幸子ほか・定価1,600円の書籍です。

(ニュース係 操田誠)

■■■ 外国にルーツを持つ子どもの学習支援 ■■■

◆12月の研修会

「学習者自身が作成していく学習計画表を考える（意思ある学びポートフォリオ）」

私 支援者同士で「日本語ポートフォリオ」について学び、それをどうやって支援に活かすのかについて話し合いました。

「日本語ポートフォリオ」は「ヨーロッパ言語ポートフォリオ」をもとに阪大の青木直子さんが作られたものです。「ヨーロッパ言語ポートフォリオ」は人の移動の激しいEU諸国内において学習者の外国語学習の継続性を維持するために作られた、学習者が自分の学習をデザインするためのツールです。

学習者の多くは週に1,2回の教室に来て、学習時間は1時間半から3時間。もしもっと早く生活や仕事で使う日本語を覚えたいのなら、学習者が自分の学習に主体的に関わることが重要です。そのため、学習者が何を学びたいのかを考え学習の目標を決め、学習者自身が積極的に学びに取り組むことが大切です。

先日、実際に日曜日教室で日本語ポートフォリオの一部を使ってみました。学習者に「どうして日本語教室に行こうと思いましたか」と聞いたところ、「日本語がうまくなりたかった」という答え以外にも、「毎日の生活で言葉に困ったときに助けてくれる人に会いたかった」や「日本での経験について話したかった」などの答えがありました。そして「どんなことができるようになりたいですか？」との質問には、「子どもの学校のプリントを読めるようになりたい」「ニュースを理解したい」「本を読みたい」という答えがありました。また学習者数人ですること、先輩学習者が後輩学習者に漢字の勉強方法をアドバイスするという場面もありました。最終的には、机の上の勉強だけが日本語の勉強ではない、日々の生活の中でも日本語を勉強する方法はたくさんあることがわかったようでした。

支援者は学習者にどうやって日本語を教えるかを考えるのと同時に、学習者が何を学びたいと思っているのかということを理解することが大事なのだと思います。そのために日本語ポートフォリオは使えるツールです。ぜひ支援者自身が積極的に使いこなしてみてもいいでしょうか。

(矢根寛子)

◆KFC研修会～映画「海女のリャンさん」を観て（1）

濟州島出身のリャンさん。島で海女としての生活が厳しく、渡航費を何とか工面し、命からがら密航船で福岡へ。その地で再び海女として生活を始めます。身を粉にして働き、4人の子どもたちを育てますが、3人の子どもたちは北朝鮮で教育を受けることを望み、辛い別れとなります。子どもたちの北朝鮮での生活を憂いつつ、働いたお金を貯めては衣類・食糧・生活用品などを送ります。また、北朝鮮に行き、3人の子どもたちやそれぞれの家族に出会えるのを楽しみに荷造りをしているリャンさんは、きっと待ちに待った日がもうすぐそこに・・・の思いでいっぱいだったのでは。子どもたちを気遣う母としての姿が痛いほど伝わってきます。リャンさん自身、決して十分な暮らしをしているわけではないでしょう。しかし、不平不満を口にすることなく、80歳半ばの今日まで家族のことを大事に思い、一生懸命生き抜いている姿に心打たれました。（津田誠子）

◆KFC研修会～映画「海女のリャンさん」を観て（2）

テレビで放映されるドキュメンタリー番組のような目立った脚色もなく、海女として働く、30代の頃のリャンさんの姿や80歳半ばの現在のリャンさんの日常生活を淡々とカメラは映しだし、生きてきたというより、生き抜いてきたリャンさんの人生の重さに圧倒されました。濟州島から日本へ渡り、一年の大半を過酷な海女の仕事をし、夫と子どもたちに仕送りをし続けたリャンさん。様々な事情からわが子と離れ離れで暮らさなければならなかったリャンさん。これまでの自分の人生を嘆くのではなく、受け入れて淡々と語るリャンさんが印象的でした。（岬由美子）

■■■ ハナの会 ■■■

◆新年のご挨拶

昨年はスタッフの異動で大変な1年でしたが、ハレモニたちに淋しい思いや不便な思いをさせまいと、心熱くして頑張った1年でもありました。

新しい年を迎え、新スタッフと共に「ここに来たら楽しいわ」と言っていただけのような『ハナの会』にしたいと思っていますので、よろしく願いいたします。頑張ります!!

（朱良枝）

◆X'マス会&忘年会の報告

去る12月16日～18日、ハナの会では「忘年会」ということで、昼食にお鍋を楽しんでいただきました。独居の方も多く、お鍋を召し上がる機会の少ないハレモニたちには大変喜んでいただきました。金宣吉理事長のあいさつの後にジュースで乾杯！野菜たっぷりのお鍋をポン酢で美味しくいただきました。ハレモニたちもスタッフも大満足でした。

16、17日の午後はX'マス会。チマチョゴリ持参の方は着替えて準備OK。スタッフのクリスマスソングとハンドベル、韓国舞踊、そして1か月前からの猛特訓(?)の成果を見せるべく、ハレモニたちが「ジングルベル」をハンドベルで演奏。最高の演奏にスタッフ一同、心から感動しました！真剣な眼差しは本当にキラキラと輝いていましたよ。次はスタッフの踊り「コクトウガクシ」の出番。男女の子供の衣装を付けて、可愛く(?)踊る姿に、ハレモニたちは大笑いの大喜び！最後にサンタクロースに温かいプレゼントをもらって、楽しい楽しい一日が終わって行きました。

さて、来年はどんな楽しいことをしましょうか？（朱良枝）

■■■ 今後の予定 ■■■

■ KFC研修会

3月14日（土） 13:30～16:00

「カタカナについて」

藤川多津子（（財）海外技術者研修協会

関西研修センター日本語講師）

於 デイサービスセンターハナの会

■ ハナの会書き初め

1月5日（月）～1月9日（金）

於 デイサービスセンターハナの会

■ ハナの会新年会

1月31日（土）

於 デイサービスセンターハナの会